

様式（1）

（施工年度） 平成22年度

（国道又は路線名）

（工事名） サンプル工事

主任 監督員印	監督員印

出来形取まとめ結果表

経過第 回既済部分検査（ 月 日）

第 回既済部分検査（ 月 日）

しゅん工検査（ 月 日）

施工者 ワイズ建設

現場代理人 ワイズ太郎

印

主任技術者 ワイズ太郎

印

測定者 ワイズ太郎

印

注) イ. 改良、舗装等の区別を記入すること。

ロ. 出来形管理及び品質管理ごとに表紙をつけ記入すること。

様式（2）

舗装工 測定結果表

測定項目 基準高 EL1

測定者 ワイズ太郎 印

測 点	設 計 値 A (m)	測 定 値 B (m)	設 計 値 と の 差 C = B - A (mm)	監 督 員 記 事
No. 0	100.000	99.990	-10	
No. 1	110.000	110.020	20	
No. 2	120.000	120.035	35	
No. 3	130.000	129.965	-35	
No. 4	140.000	139.985	-15	
No. 5	150.000	150.020	20	
No. 6	160.000	160.025	25	
No. 7	170.000	170.020	20	
No. 8	180.000	180.030	30	
No. 9	190.000	190.015	15	
No. 10	200.000	200.005	5	

記 事	〔基 準〕	設計値	仕様書の範囲	-40～+40 mm	
			社内規格値の範囲	-20～+20 mm	
	〔測定結果〕	測定数	11	設計値との差の範囲	-35～+35 mm
				平均値	10 mm
合格判定値との対比					

注) イ. この様式は主として出来形管理の取りまとめに使用するものとするが、品質管理においても指定された場合は、この様式によるものとする。
 ロ. 監督員の検査を受け、請負者の測定値の誤りが発見され、再仕上げを行って測定した場合はその結果を（ ）で記入する。

様式 (5)

X 管理 図

名 称	舗装工			期 間	自	平成22年6月7日
品質特性	基準高EL1	測定単位	mm		至	平成22年10月12日
規格	最大(社内)	+40(+20)	試	大きさ	測定者	ワイズ太郎
限界	最小(社内)	-40(-20)	料	間 隔		



注) イ. 記事欄には、施工管理基準に定められた事項、異常原因、その他必要事項を記入する。

ロ. 管理図は、仕様書による規格限界線を朱書で記入する。